

設置の趣旨等を記載した書類（資料）

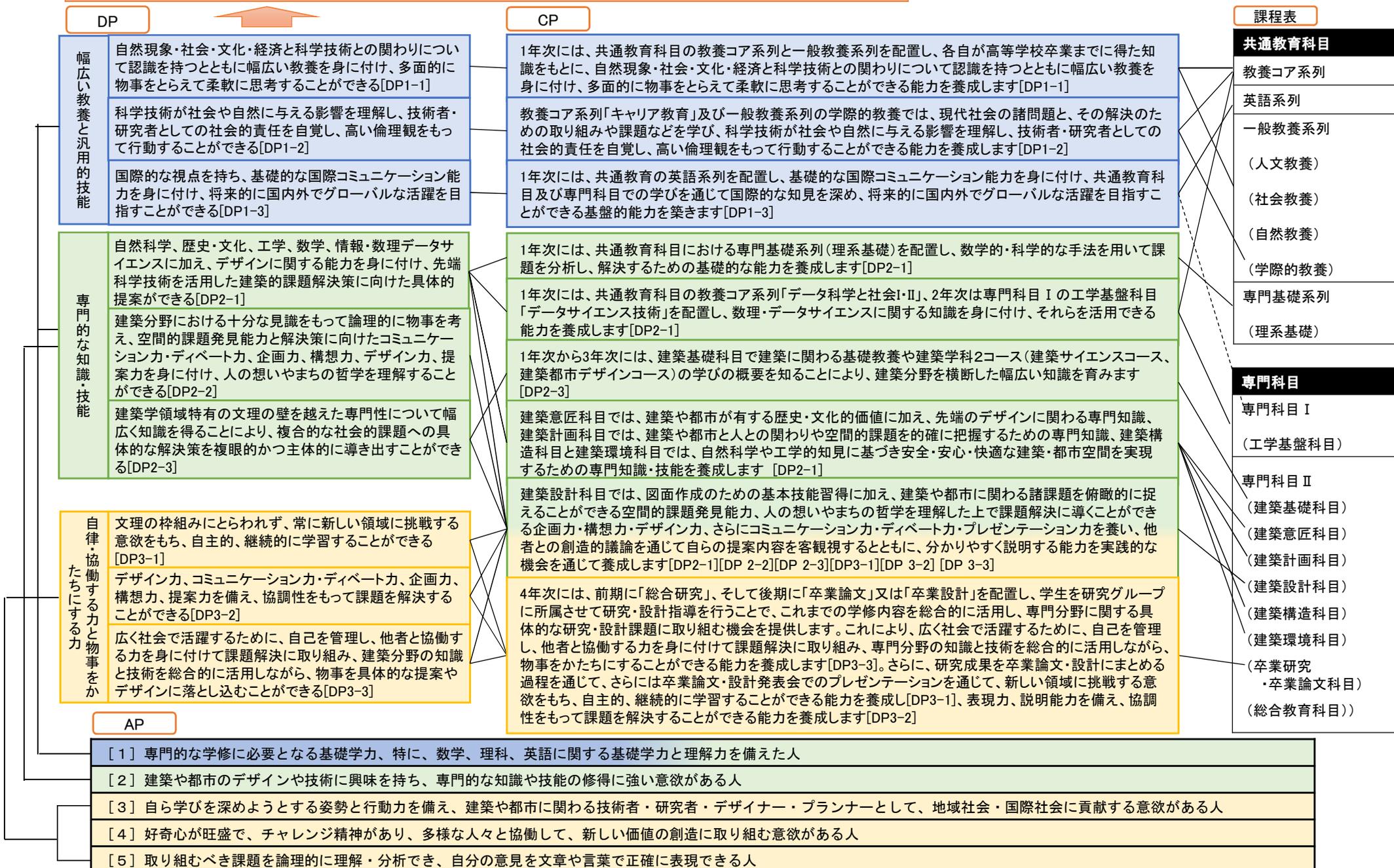
山口大学工学部建築学科

設置の趣旨等を記載した書類 資料目次

【資料1】	養成する人材像及び3つのポリシーの各項目との関連図	3
【資料2】	履修モデル	4
【資料3】	Yu-DX 地域の未来を担う DX 人材育成プログラム	8

養成する人材像及び3つのポリシーの各項目との関連図

人の感性の多面性や多様性を理解し、安全・耐久性に優れ、かつ機能・快適性と美しさ・文化芸術性を兼ね備えた建築を国際的に創造、保全、活用するための技能を身に付けた人材



DP

CP

課程表

幅広い教養と汎用的技能

自然現象・社会・文化・経済と科学技術との関わりについて認識を持つとともに幅広い教養を身に付け、多面的に物事をとらえて柔軟に思考することができる[DP1-1]

科学技術が社会や自然に与える影響を理解し、技術者・研究者としての社会的責任を自覚し、高い倫理観をもって行動することができる[DP1-2]

国際的な視点を持ち、基礎的な国際コミュニケーション能力を身に付け、将来的に国内外でグローバルな活躍を目指すことができる[DP1-3]

1年次には、共通教育科目の教養コア系列と一般教養系列を配置し、各自が高等学校卒業までに得た知識をもとに、自然現象・社会・文化・経済と科学技術との関わりについて認識を持つとともに幅広い教養を身に付け、多面的に物事をとらえて柔軟に思考することができる能力を養成します[DP1-1]

教養コア系列「キャリア教育」及び一般教養系列の学際的教養では、現代社会の諸問題と、その解決のための取り組みや課題などを学び、科学技術が社会や自然に与える影響を理解し、技術者・研究者としての社会的責任を自覚し、高い倫理観をもって行動することができる能力を養成します[DP1-2]

1年次には、共通教育の英語系列を配置し、基礎的な国際コミュニケーション能力を身に付け、共通教育科目及び専門科目での学びを通じて国際的な知見を深め、将来的に国内外でグローバルな活躍を目指すことができる基盤的能力を築きます[DP1-3]

専門的な知識・技能

自然科学、歴史・文化、工学、数学、情報・数理データサイエンスに加え、デザインに関する能力を身に付け、先端科学技術を活用した建築的課題解決に向けた具体的提案ができる[DP2-1]

建築分野における十分な見識をもって論理的に物事を考え、空間的課題発見能力と解決策に向けたコミュニケーション力・ディベート力、企画力、構想力、デザイン力、提案力を身に付け、人の想いやまちの哲学を理解することができる[DP2-2]

建築学領域特有の文理の壁を越えた専門性について幅広く知識を得ることにより、複合的な社会的課題への具体的な解決策を複眼的かつ主体的に導き出すことができる[DP2-3]

1年次には、共通教育科目における専門基礎系列(理系基礎)を配置し、数学的・科学的な手法を用いて課題を分析し、解決するための基礎的な能力を養成します[DP2-1]

1年次には、共通教育科目の教養コア系列「データ科学と社会I・II」、2年次は専門科目Ⅰの工学基盤科目「データサイエンス技術」を配置し、数理・データサイエンスに関する知識を身に付け、それらを活用できる能力を養成します[DP2-1]

1年次から3年次には、建築基礎科目で建築に関わる基礎教養や建築学科2コース(建築サイエンスコース、建築都市デザインコース)の学びの概要を知ることにより、建築分野を横断した幅広い知識を育みます[DP2-3]

建築意匠科目では、建築や都市が有する歴史・文化的価値に加え、先端のデザインに関わる専門知識、建築計画科目では、建築や都市と人との関わりや空間的課題を的確に把握するための専門知識、建築構造科目と建築環境科目では、自然科学や工学的知見に基づき安全・安心・快適な建築・都市空間を実現するための専門知識・技能を養成します [DP2-1]

建築設計科目では、図面作成のための基本技能習得に加え、建築や都市に関わる諸課題を俯瞰的に捉えることができる空間的課題発見能力、人の想いやまちの哲学を理解した上で課題解決に導くことができる企画力・構想力・デザイン力、さらにコミュニケーション力・ディベート力・プレゼンテーション力を養い、他者との創造的議論を通じて自らの提案内容を客観視するとともに、分かりやすく説明する能力を実践的な機会を通じて養成します[DP2-1][DP 2-2][DP 2-3][DP3-1][DP 3-2] [DP 3-3]

自律・協働する力と物事をかたちにする力

文理の枠組みにとらわれず、常に新しい領域に挑戦する意欲をもち、自主的、継続的に学習することができる[DP3-1]

デザイン力、コミュニケーション力・ディベート力、企画力、構想力、提案力を備え、協調性をもって課題を解決することができる[DP3-2]

広く社会で活躍するために、自己を管理し、他者と協働する力を身に付けて課題解決に取り組み、建築分野の知識と技術を総合的に活用しながら、物事を具体的な提案やデザインに落とし込むことができる[DP3-3]

4年次には、前期に「総合研究」、そして後期に「卒業論文」又は「卒業設計」を配置し、学生を研究グループに所属させて研究・設計指導を行うことで、これまでの学修内容を総合的に活用し、専門分野に関する具体的な研究・設計課題に取り組む機会を提供します。これにより、広く社会で活躍するために、自己を管理し、他者と協働する力を身に付けて課題解決に取り組み、専門分野の知識と技術を総合的に活用しながら、物事をかたちにすることができる能力を養成します[DP3-3]。さらに、研究成果を卒業論文・設計にまとめる過程を通じて、さらには卒業論文・設計発表会でのプレゼンテーションを通じて、新しい領域に挑戦する意欲をもち、自主的、継続的に学習することができる能力を養成し[DP3-1]、表現力、説明能力を備え、協調性をもって課題を解決することができる能力を養成します[DP3-2]

AP

- [1] 専門的な学修に必要な基礎学力、特に、数学、理科、英語に関する基礎学力と理解力を備えた人
- [2] 建築や都市のデザインや技術に興味を持ち、専門的な知識や技能の修得に強い意欲がある人
- [3] 自ら学びを深めようとする姿勢と行動力を備え、建築や都市に関わる技術者・研究者・デザイナー・プランナーとして、地域社会・国際社会に貢献する意欲がある人
- [4] 好奇心が旺盛で、チャレンジ精神があり、多様な人々と協働して、新しい価値の創造に取り組む意欲がある人
- [5] 取り組むべき課題を論理的に理解・分析でき、自分の意見を文章や言葉で正確に表現できる人

共通教育科目	
教養コア系列	
英語系列	
一般教養系列	
(人文教養)	
(社会教養)	
(自然教養)	
(学際的教養)	
専門基礎系列	
(理系基礎)	
専門科目	
専門科目Ⅰ	
(工学基盤科目)	
専門科目Ⅱ	
(建築基礎科目)	
(建築意匠科目)	
(建築計画科目)	
(建築設計科目)	
(建築構造科目)	
(建築環境科目)	
(卒業研究・卒業論文科目)	
(総合教育科目)	

【履修モデル：工学部 建築学科 建築サイエンスコース(環境系モデル)】

- 履修モデルとする学生の出自：高等学校の普通科を卒業した生徒
- 履修モデルとする学生の志向：建築構造と建築設備の設計・施工、建築材料開発などの技術者を旨とする学生
- 学位に付記する専攻分野の名称：建築学
- 履修科目

区分	授業科目	必修	B1				B2				B3				B4				計 (環境)	
			Q1	Q2	Q3	Q4														
教養コア	基礎セミナー	必	2																2	
	データ科学と社会Ⅰ	必	1																1	
	データ科学と社会Ⅱ	必		1															1	
	知的財産入門	必				1													1	
	運動健康科学	必			1														1	
	山口と世界	必			1														1	
	知の広場	必			1														1	
	キャリア教育	必									1								1	
	英語Ⅰaまたは英語Ⅱa	必	2																2	
	英語Ⅰbまたは英語Ⅱb	必			2														2	
英語	英語会話Ⅰaまたは英語会話Ⅱa	必	1																1	
	英語会話Ⅰbまたは英語会話Ⅱb	必			1														1	
	哲学	必		1															1	
	歴史学	必	1																1	
	社会学	必		1															1	
	社会教養	経済と法Ⅰ	必	1																1
		経済と法Ⅱ	必				1													1
		経済と法Ⅲ	必			1														1
	自然教養	自然科学Ⅰ	必		1															1
		自然科学Ⅱ	必	1																1
学際的教養	人間の発達と育成Ⅰ	必			1														1	
	人間の発達と育成Ⅱ	必				1													1	
	人間の継承と創造Ⅰ	必	1																1	
	人間の継承と創造Ⅱ	必		1															1	
	社会と医療	必			1														1	
	環境と人間	必						1											1	
専門基礎	食と生命	必	1																1	
	数学Ⅰ	必	2																2	
	数学Ⅱ	選			2														2	
	物理学Ⅰ	必	2																2	
	物理学Ⅱ	選			2														2	
	化学Ⅰ	選	2																2	
	化学Ⅱ	選																		
	生物学Ⅰ	選																		
	生物学Ⅱ	選																		
	地球科学Ⅰ	選																		
地球科学Ⅱ	選																			
小計			38				1			1				0				40		
専門Ⅰ	線形代数	必	2																2	
	常微分方程式	必				2													2	
	線形代数及び解析統論	選必				1				2									2	
	応用物理学	選必				2													2	
	応用解析	選必																		
	確率統計	選必																		
	データサイエンス技術	必							2										2	
	テクニカルコミュニケーションⅠ(ECE)	選																		
	テクニカルコミュニケーションⅠ(BCG-1)	選																		
	テクニカルコミュニケーションⅠ(ESE-1)	選																		
テクニカルコミュニケーションⅡ(BCG-2)	選																			
テクニカルコミュニケーションⅡ(ESE-2)	選																			
テクニカルコミュニケーションⅡ(Academic Writing)	選																			
建築基礎	建築学概論	必	2																2	
	木質建築概論	必				2													2	
	建築心理学	選								2									2	
	建築法規	必									2								2	
	空間と意匠	必			2														2	
	建築意匠	建築デザイン論	必				2			2										2
		木質デザイン論	必						2		2									2
		西洋建築史	必				2													2
		日本建築史	必							2										2
	建築計画	近代建築史	選								2									2
住宅計画学		必				2													2	
建築計画学Ⅰ		必							2										2	
建築計画学Ⅱ		選																		
都市計画学Ⅰ		必								2									2	
建築設計	都市計画学Ⅱ	選																		
	空間まちづくり論	選																		
	アーバンデザイン論	選																		
	建築技術支援DXⅠ	必							1										1	
	建築技術支援DXⅡ	必								1									1	
	建築技術支援DXⅢ	選																		
	設計製図	必				2													2	
	建築設計演習Ⅰ	必						2											2	
	建築設計演習Ⅱ	必							2										2	
	建築設計演習Ⅲ	必								2									2	
建築設計演習Ⅳ	必									2								2		
建築設計演習Ⅴ	選									2								2		
建築設計演習Ⅵ	選										2							2		
専門Ⅱ	構造デザイン論	必				1													1	
	構造力学Ⅰa・同演習	必				2													2	
	構造力学Ⅰb・同演習	必					2												2	
	構造力学Ⅱa・同演習	必						2											2	
	構造力学Ⅱb・同演習	必							2										2	
	鉄筋コンクリート構造・同演習	必									3								3	
	木質構造論	必									2								2	
	鉄骨構造・同演習	選										1							1	
	構造設計演習	選											1						1	
	建築材料Ⅰ	必							2										2	
建築材料実験	必										1							1		
建築材料Ⅱ	選									1								1		
建築施工学	必											2						2		
建築環境	建築環境工学・同演習	必				2													2	
	建築設備工学概論	必							2										2	
	建築設備工学・同演習	必								2									2	
	建築設備設計演習	選										2							2	
	建築防災学	必										2							2	
都市地域環境GX論	選										2							2		
卒業研究・卒業論文	総合研究	必												3					3	
	卒業論文	選必																	3	
総合教育	卒業設計	選必																		
	インターンシップA	選																		
	インターンシップB	選																		
	特許法	選																		
	国際実習Ⅰa	選																		

▶ Yu-DXプログラムのカリキュラム

	必修科目	選択必修科目(1科目以上履修すること)
1 年次	<ul style="list-style-type: none"> ● DXとは(知の広場の1コマ) DXに関する基礎的概念を知り、事例よりその推進の方法について理解する。 ● データ科学と社会1・II データ活用のための基本的素養であるデータの活用方法、セキュリティ・モラルについて学ぶ。 ● 知的財産入門 DXの推進が考く知識集約型社会に必要な知的財産の知識を得る。 ● 山口と世界 山口県の歴史、文化、経済、産業、自然、教育など身近な地域の特徴を知り、地域社会の発展に寄与する能力や態度を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域学 地域の特性や地域が抱える課題を認識し、自ら課題を設定し、その解決にチャレンジするための素地を培う。 ● データサイエンス技術関連科目 データサイエンスの基本的概念およびデータ分析の基礎的な技術を身に付ける。 ● 知財展開科目 著作権法、特許法、知財権の分析と活用、ものづくりと知的財産、産学連携、技術経営と知的財産など。
2 年次	<ul style="list-style-type: none"> ● DX概論 DXの概念を理解し、その実施方法を事例ベースで学ぶ。 	
3 年次	<ul style="list-style-type: none"> ● DXPBL デジタル技術や知的財産に関する知識などを用いて地域課題の解決方法を考え実践するPBLをおこなう。特に山口県内の企業・自治体と連携し、課題解決方法を模索する。 	

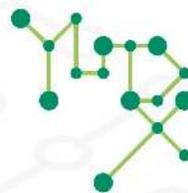
▶ 履修方法

本プログラムの履修参加希望者は、後日お知らせする申請方法により、プログラム参加希望の申込を行って下さい。参加者の募集開始時期は、知の広場での授業が終了後、1年生前期後半頃(7月頃)の予定です。(各科目の履修方法については、プログラムを申込いただいた後、改めてお知らせします。)また、興味のある授業科目のみ受講することも可能です。

※なお、プログラムの申込をしていない場合でも、規定の単位取得により、修了証の発行が可能です。修了証の発行を希望する場合は、履修、卒業までお問い合わせください。

▶ 修了証がもらえる!

本プログラムを通して経験し学んだことは、あなたにとって大きな財産になるはずです。しかしそれは時間がたつにつれて色あせてしまうものです。卒業証書とともに思い出の品としてもう一ついかがでしょうか。社会人になって修了証を見返すことで、あらためて山口大学で学んだ自分に誇りを持ち、自信を深めてもらいたいと思います。



YU-DX

地域の未来を担う
DX人材育成プログラム
Yamaguchi Univ.
Digital Transformation Training Program

地域課題解決に
チャレンジ!!



教育・学生支援機構 DX人材育成推進室

【事務局】教育支援課教育連携係

【住所】〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1

【TEL】083-933-5233 (電話受付時間9時~17時)

【E-mail】ga110@yamaguchi-u.ac.jp

【HP】https://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~dxjinza



教育・学生支援機構 DX人材育成推進室

DX: デジタルトランスフォーメーション
データとデジタル技術を活用して、ニーズをもとに
ビジネスや社会、生活に変革をもたらす取り組み

01 Yu-DXプログラムとは

Yu-DXプログラムとは、山口大学でこれまでおこなっていたYFL育成プログラムにDXマインドを加え発展させた「地域の未来を担うDX人材育成プログラム」です。DXとは、データとデジタル技術を活用して、ニーズをもとにビジネスや社会、生活に変革をもたらす取り組みのことで、近年では、DXにより企業のビジネスを大きく変えたり、様々な地域課題の解決を図ったりなどの事例が多数あり、そのための人材が広く求められています。

02 YFL育成プログラム

YFL育成プログラムとは、2016年度から山口大学を含めた山口県の高等教育機関で開始された、地域で活躍できる力を身につけ、地域の未来を担う人材「Yamaguchi Frontier Leader（やまぐち未来創成リーダー）」を育成する教育プログラムです。YFL育成プログラムでは、DXマインドを除く6つの力の育成に着目していました。これにDXマインドを加えてYu-DXプログラムへ進化しました。

03 Yu-DXプログラムのロードマップ

入門 1 年次

山口県の歴史や文化、また世界との関わり方について座学の講義を通して学び、考える。またデータやデジタル技術の活用に関する基本的素養を学ぶ。

- ① やまぐちスピリット
- ② グローカルマインド
- ③ イノベーション創出力
- ④ DXマインド

基礎 2 年次

具体的な地域課題、企業課題と向き合い、より深く培ったDXマインド、これまでの知識や技能を用いてその解決方法を考える。

- ⑤ イノベーション創出力
- ⑥ 協働力
- ⑦ 課題発見力・解決力
- ⑧ DXマインド

応用 3 年次

地域社会が抱える課題や企業が直面する課題を自ら発見し、それらをDXマインドでもって解決する実践的な演習を行う。

- ⑨ 協働力
- ⑩ 課題発見力・解決力
- ⑪ 挑戦・実践力
- ⑫ DXマインド

Yu-DXプログラムで育む7つの力

協働力 04

目標を共有し、その達成に向けて、お互いの能力・立場を理解し合いながら、自分の立ち位置を意識した行動ができるようなバランス感覚を育てます。

基礎 応用

イノベーション創出力 03

様々な情報が乱れ飛び、ネットでそれが簡単に手に入られる今だからこそ、情報を的確に把握し、それを新しい切り口で形にできるような力を鍛えます。

入門 基礎

グローバルマインド 02

グローバルな幅広い視野と、その視野の広さを活かして目の前の課題に取り組める柔軟性を養います。

入門

やまぐちスピリット 01

山口県は波乱に富んだ歴史、美しい建造物、魅力ある自然環境、実績の高い製造業など様々な地域資源、学問的素材の宝庫です。まずはこれをじっくりと学びます。

入門

地域の未来を拓くしなやかなDX人材

【しなやかに】

時代の変化、

社会の多様化を見据えるしなやかさを持ち、

【はっけんし】

新たな価値を創出するための課題を見出し、

【はぐくみ】

解決に向けてデータとデジタル技術を適切に活用した方策を構想し、

【かたちにする】

実装に導くことができるイノベーション人材

課題発見力・解決力 05

与えられた問題、そのためのマニュアルではなく、自らの知識や技能を駆使して課題を抽出し、解決のためにその課題に向き合う姿勢を身に付けます。

基礎 応用

挑戦・実践力 06

大学で身に付けた専門知識や技能を様々な場面で活用してみようとする積極性、実践に移そうとする行動力を育成します。

応用

DXマインド 07

DXの意義を正しく理解し、データとデジタル技術、知的財産に関する知識などを用いて、課題解決を実践します。

入門 基礎 応用